

第134期

SANYO REPORT

2022年4月1日から2023年3月31日まで



4年ぶりに開催された桜イベント「敦盛桜」期間中の須磨浦ロープウェイと須磨浦公園の夜桜

山陽電気鉄道株式会社

ごあいさつ



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による影響を受けるなか、行動制限の緩和等により社会経済活動が正常化に向かう動きが見られた一方で、国際情勢の不安定化により物価上昇に歯止めがかからないなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のなか、運輸業では沿線施設や自治体等とのイベントを実施し、沿線の魅力発信と旅客誘致に努めましたほか、流通業においては、山陽百貨店での新規テナントの導入や各種催事の開催を通じて、収益拡大と集客力の向上に取り組みました。また、不動産業においては、引き続き沿線内外で分譲マンション事業を推進したほか、事業用不動産の建設・取得により、収益拡大をはかりました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は38,913百万円、営業利益は3,491百万円、経常利益は3,804百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,664百万円となりました。また、当期の期末配当は1株につき15円とし、中間配当とあわせた年間配当は1株につき30円とさせていただきます。これもひとえに株主の皆さまの日頃のご支援、ご協力の賜と厚くお礼を申しあげる次第でございます。

今後の主な取り組み等について

今後の見通しにつきましては、コロナ禍を経た社会の変化や人々の行動変容に加え、海外景気の下振れリスク等による影響など、当社グループを取り巻く環境は依然として非常に厳しい状況が続くと思われま

す。このような情勢のなかで持続的に当社グループの企業価値向上をはかるため、2032年度を目標年度とする長期ビジョンを設定するとともに、その基盤となる2025年度までの中期経営計画を策定しました。今後は、この中期経営計画の4つの基本戦略である「安全・安心・快適な輸送の維持・向上」「沿線の開発可能余地についての徹底的な検証と実行」「非鉄道事業分野での成長投資を通じた経営基盤の強化」「サステナビリティ基本方針を踏まえた経営の推進」に基づく各種施策を着実に実行することで、これらの達成に注力してまいります。

運輸業のうち鉄道事業におきましては、沿線で開催されるイベントや行楽情報の発信により、さらなる旅客誘致に努めてまいります。また、本年3月17日に神戸市と締結した事業連携協定に基づき、須磨・垂水エリアで行き交う人々の交流およびエリア活性化を目指してまいります。

設備面では、本年4月1日に導入された「鉄道駅バリアフリー料金制度」を新たに活用し、夢前川駅のバリアフリー化工事を進めるほか、既存の各種バリアフリー施設の更新も実施してまいります。また、AIによる画像解析技術を用いた踏切の安全性向上に引き続き注力するほか、CO₂削減効果が見込まれる6000系車両への更新工事も継続するなど、サステナビリティに関する取り組みも推進してまいります。このほか、国土交通省より着工準備採択を受けた高砂駅～荒井駅付近での連続立体交差化事業については、事業実施に向けて関係各所と協議を重ねてまいります。

バス事業におきましては、お客さまの利用動向に応じた旅客サービスを通じて、垂水・舞子地域の輸送における不可欠な地位の持続に注力してまいります。

流通業では、本年7月1日に開店70周年を迎える山陽百貨店におきまして、山陽姫路駅ビル1階部分に増床した南館への姫路初となる本格的セレクトショップや有名アパレルブランド等の導入により、商品力のさらなる強化をはかるほか、店舗の魅力向上につながる全館催事を行い、お客さまの来店促進に取り組んでまいります。また、外商部門においては、次世代顧客への深耕と強化に努めるなかで、一層の収益拡大をめざしてまいります。

不動産業のうち分譲事業では、加古川市での「ブランシエラ加古川リアラス」の建設・販売、神戸市西区での「クレヴィアシティ西神中央」の販売を引き続き進めるほか、神戸市須磨区では宅地分譲を実施するなど、新たな分譲事業計画にも取り組んでまいります。

また、賃貸事業におきましては、引き続き西二見駅前で介護付有料老人ホームの建設を進め、保有土地の有効活用をはかるほか、関西圏や首都圏等での収益不動産取得にも注力し、事業基盤の一層の拡充を進めてまいります。

当社グループは、現下の非常に厳しい社会情勢のなか、引き続き安全・安心を絶対条件とする交通事業者として課せられた社会的使命を果たしていくとともに、沿線の活性化と事業拡大に積極的に取り組むなかで、持続可能な社会の実現への貢献とさらなる企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 **上門 一裕**

山陽電鉄グループ 長期ビジョン・中期経営計画の策定

■長期ビジョンと中期経営計画の全体像

当社グループの10年後（2032年度）のあるべき姿を設定した「長期ビジョン」、あるべき姿に向かう基盤づくりの位置づけの「中期経営計画（2023年度～2025年度）」を策定し、経営を推進しています。

長期ビジョン(2032年度)

今後の変化する社会環境下においても、当社グループが一体となって沿線の皆さまの生活を支え、地域発展に貢献する存在であり続ける

数値目標 (2032年度)

営業利益(連結) **3,800**百万円
有利子負債/
EBITDA 倍率 **6倍台**を維持(連結)

中期経営計画(2023年度～2025年度)

基本方針 当社グループが一体となって沿線のさらなる魅力向上に努め、非鉄道事業分野での成長投資も含めて経営基盤の強化を図る

基本戦略

- ① 安全・安心・快適な輸送の維持・向上
- ② 沿線の開発可能余地についての徹底的な検証と実行
- ③ 非鉄道事業分野での成長投資を通じた経営基盤の強化
- ④ サステナビリティ基本方針を踏まえた経営の推進

数値目標 (2025年度)

営業利益(連結) **3,050**百万円
有利子負債/
EBITDA 倍率 **6倍台**を維持(連結)

■主要セグメントの行動計画（一例）

運輸セグメント	流通セグメント	不動産セグメント
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化の推進 ・高砂地区連続立体交差事業の推進 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・山陽百貨店での外商部門の強化 ・山陽姫路駅ビル1階(南館)出店の効果発揮 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益不動産の継続的な取得 ・分譲事業の継続的な推進 等
夢前川駅バリアフリー化 (イメージ)	山陽百貨店南館	西二見介護付有料老人ホーム (イメージ)

計画の詳細については、当社HPをご覧ください。 <https://www.sanyo-railway.co.jp/company/plan.html>



山陽電鉄グループ サステナビリティへの取り組み

当社グループは、持続可能な社会の実現への貢献と持続的な企業価値の向上を目指し、サステナビリティ経営を推進しています。

サステナビリティ基本方針

「兵庫県南部を基盤として、地域とともに走り続け、人々の生活を支える企業グループであるために」

山陽電鉄グループは、鉄道事業を展開する兵庫県南部を基盤として、運輸、流通、不動産、レジャー・サービス等の事業を営みながら、地域とともに成長してきました。

これからも、当社グループが取り組むべき課題の解決を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、沿線内外のあらゆる事業機会に挑戦し、新たな価値を創出することで、持続的な企業価値の向上を目指します。

マテリアリティ（重要課題）

E (環境)	環境に配慮した事業活動の推進	S (社会)	安全・安心・快適なサービスの提供
S (社会)	魅力的なまちづくり	S (社会)	パートナーシップの強化
S (社会)	多様な人財の育成と、一人ひとりが能力を発揮できる環境づくり	G (ガバナンス)	コンプライアンスの徹底とガバナンスの充実

※具体的な対応策（アクションプラン）および目標となる指標（KPI）の設定については、2023年度に実施する予定としております。



2023年3月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に賛同しました。今後、同提言に基づく情報開示について段階的に進めてまいります。

当社グループのサステナビリティへの取り組みやCO₂排出量などの詳細なデータについては、当社HPをご覧ください。
<https://www.sanyo-railway.co.jp/company/sustainability/index.html>



トピックス

●東須磨駅のバリアフリー化工事が完了（運輸業）

東須磨駅のバリアフリー化工事の完了により、エレベーターの供用を開始したほか、バリアフリートイレの設置も行いました。

また、エレベーターと橋上コンコースをご通行いただくことで、踏切を渡ることなく安全に線路を横断することができるようになりました。



エレベーター



バリアフリートイレ

「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し円滑な移動の実現を推進

当社では、駅のバリアフリー施設の整備のために、本年4月1日から「鉄道駅バリアフリー料金制度」を導入しました。同制度を活用し、お客さまから運賃に加算して収受した鉄道駅バリアフリー料金を、駅のバリアフリー施設の整備費等に充当することで、さらに安全・安心・快適な鉄道を目指してまいります。

●神戸市との須磨・垂水エリアの活性化に関する事業連携協定を締結（運輸業）



協定締結会見

当社沿線の須磨・垂水エリアで行き交う人々の交流およびエリア活性化を目指すため、神戸市と事業連携協定を締結しました。

本協定の締結を機に、個別の連携プロジェクトとして霞ヶ丘駅のバリアフリー化を含めた再整備、須磨エリアの回遊性向上を目指した周遊バスの運行、垂水駅活性化へ向けた協働などを実施し、須磨・垂水エリアの来訪者の回遊を促す仕組みづくり、駅からはじまる暮らしやすいまち、持続可能な地域の発展・好循環の実現等に向けて一層努めてまいります。

本協定の詳細については、こちらからご覧いただけます。



●山陽百貨店南館をオープンし、姫路初出店テナント等を導入（流通業）

山陽百貨店では、4月28日に山陽姫路駅に隣接する山陽姫路駅ビル1階を新たに「南館」としてオープンし、姫路初出店の本格的セレクトショップ「ビームス」等を導入しました。

南館に隣接する、美装化工事により明るく一新された東西通路とあわせて、山陽姫路駅周辺が人の流れを呼び込む賑わいのある空間になりました。

今後も、当社グループ全体で山陽姫路駅周辺のエリア価値の向上に取り組んでまいります。



山陽百貨店南館と東西通路

BEAMS

〈BEAMS〉〈Ray BEAMS〉〈BEAMS BOY〉〈Demi-Luxe BEAMS〉など複数レーベルを展開する店舗「ビームス 姫路」が姫路に初出店。

●分譲マンション「ブランシエラ加古川リアラス」を販売中（不動産業）

加古川市において分譲マンション「ブランシエラ加古川リアラス」の販売を進めています。

本物件はJR加古川駅徒歩4分、ベルデモール・じけまち商店街に隣接するほか、周辺には大型商業施設や市民病院、市立図書館があり、交通・生活利便性に優れた立地にあります。

引き続き販売活動に注力してまいります。



ブランシエラ加古川リアラス



内観（イメージ）

本物件の公式HPについては、こちらからご覧いただけます。



連結決算の概要(要旨)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)

科 目	金 額
(資産の部)	百万円
流動資産	20,604
固定資産	90,562
資産合計	111,167

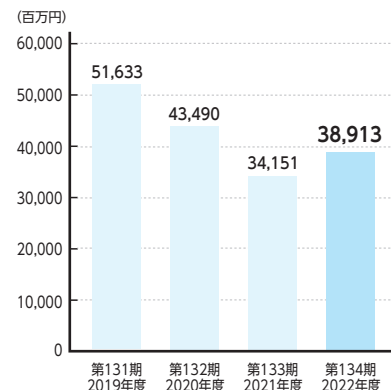
科 目	金 額
(負債の部)	百万円
流動負債	22,701
固定負債	38,820
負債合計	61,522
(純資産の部)	
株主資本	46,761
その他の包括利益累計額	2,883
純資産合計	49,644
負債純資産合計	111,167

連結損益計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

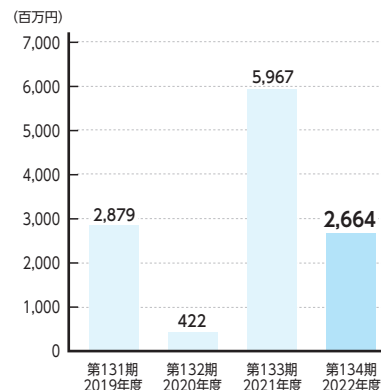
科 目	金 額
営業収益	38,913
営業費	35,421
営業利益	3,491
営業外収益	647
営業外費用	334
経常利益	3,804
特別利益	221
特別損失	247
税金等調整前当期純利益	3,777
親会社株主に帰属する当期純利益	2,664

連結業績等の推移

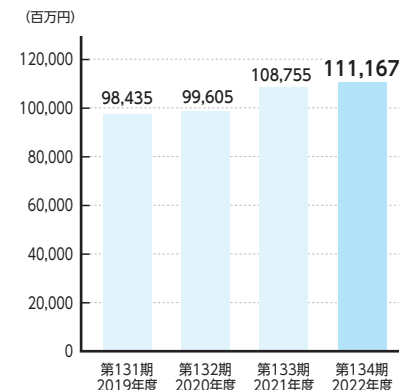
営業収益



親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



※第133期(2021年度)より「収益認識に関する会計基準」等の適用をしております。

会社の概要 (2023年3月31日現在)

創 立	1907年7月2日 (前身の兵庫電気軌道株)	本 社	神戸市長田区御屋敷通3丁目1番1号
設 立	1933年6月6日	事 業 内 容	●鉄道事業 ●不動産事業
資 本 金	10,090,290,158円	従 業 員 数	●連結 1,961名 ●単体 761名
発行済株式の総数	22,330,598株	T E L	078-612-2032
株 主 数	8,826名	ホームページアドレス	https://www.sanyo-railway.co.jp/

役員状況 (2023年6月28日現在)

取締役	代表取締役	上 門 一 裕	執行役員	社 長	上 門 一 裕
	代表取締役	中 野 隆		専務執行役員	中 野 隆
	取締役	米 田 真 一		常務執行役員	米 田 真 一
	取締役	伊 東 正 博		常務執行役員	伊 東 正 博
	取締役	増 田 隆 治		常務執行役員	増 田 隆 治
	取締役	川久保 文 照		執行役員	川久保 文 照
	社外取締役	長 尾 真		執行役員	井 上 俊 行
	社外取締役	佐 藤 陽 子		執行役員	田 中 健
	社外取締役	秦 雅 夫		執行役員	水 谷 大 輔
				執行役員	村 岡 朋 典
				執行役員	長谷川 真 一
監査役	監査役(常勤)	今 栄 高 志			
	監査役(常勤)	金 谷 明 彦			
	社外監査役	中 尾 一 彦			
	社外監査役	香 川 次 朗			

グループの概要 (2023年3月31日現在)

主要な事業内容

事業の種類別セグメント	主要な事業内容
運 輸 業	鉄道事業、バス事業、タクシー業
流 通 業	百貨店業、コンビニエンスストア業
不 動 産 業	不動産賃貸事業、不動産分譲事業
レジャー・サービス業	飲食業、スポーツ業、広告代理業
その他の事業	労働者派遣事業、設備の保守・整備・工事業、ビル管理業他

株式についてのご案内

株主優待のご案内

毎年3月31日および9月30日現在100株以上ご所有の株主さまに対して、所有株式数に応じて以下のとおり贈呈します。

所有株式数	株主優待券	電車乗車証 (切符型)	電車・山陽バス 共通乗車証	グループ・沿線施設 株主優待券	
100株～199株		2枚	—	1冊	
200株～599株		4枚			
600株～999株		8枚			
1,000株～1,999株		12枚			
2,000株～2,999株		24枚			
3,000株～3,999株		48枚			
4,000株～4,599株		60枚	1枚		
4,600株～39,999株		4枚			2枚
40,000株～99,999株					3枚
100,000株～199,999株					5枚
200,000株以上					

- ① 電車乗車証 (切符型)、電車・山陽バス共通乗車証の通用区間
電車乗車証 (切符型) は、西代駅以西の全線で、また、電車・山陽バス共通乗車証は、電車は西代駅以西の全線で、山陽バスは高速バス路線 (有料道路路線を含む) を除く全線でご使用いただけます。
- 2) 電車・山陽バス共通乗車証の名義
券面に「持参人ご1名」と表示しておりますので、株主さまご本人以外の方でもご使用いただけます。
- 3) 株主優待の有効期間
3月31日現在の株主さまに贈呈する分は、6月1日から11月30日まで。
9月30日現在の株主さまに贈呈する分は、12月1日から5月31日まで。



グループ・沿線施設株主優待券の主な内容

グループ・沿線施設株主優待券の冊子には、当社グループ諸施設や当社沿線の観光施設などでご利用いただける優待券をお付けしております。

ご利用券	ご利用金額割引券	ご旅行代金割引券	お買上金額割引券	一般観光・入園料割引券
須磨浦山上遊園	山陽百貨店	山陽バス 観光センター・団体旅行センター	ミスタードーナツ 山陽姫路ショップ他	明石市立天文科学館 明石市立文化博物館 神戸市立須磨離宮公園

※掲載している優待は一例です。詳細については当社ホームページ (<https://www.sanyo-railway.co.jp/company/yutai.html>) をご確認ください。優待券のご利用可能範囲については券面をご参照ください。なお、優待内容は予告なく変更になる場合があります。

株主メモ

- 定時株主総会 毎年6月開催 (基準日は毎年3月31日) 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 および照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く))
- 公告方法 電子公告 (但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、神戸市において発行する神戸新聞に掲載)
- 電子公告掲載のホームページアドレス <https://www.sanyo-railway.co.jp/company/koukoku.html>

株主さまへのご案内

単元未満株式 (100株未満の株式) をご所有の株主さまへ
ご所有株式のうち、単元未満株式につきましては、次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

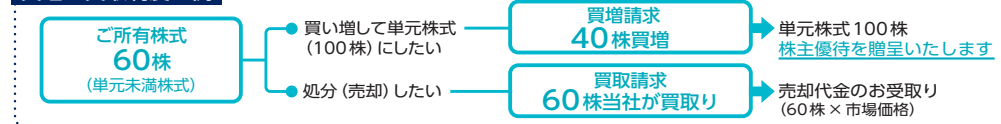
単元未満株式の買増制度

当社に対して、単元株式 (100株) に不足する株式数の市場価格による売り渡しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて、100株にすることができます。

単元未満株式の買取制度

当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取りを請求することができます。

買増・買取制度の例



配当金を配当金領収証でお受取りの株主さまへ

配当金は、株主さまご指定の金融機関口座 (ゆうちょ銀行の口座を含む) またはお取引のある証券会社口座でお受取りすることができます。ゆうちょ銀行の配当金領収証払を選択されている株主さまにおかれましては、配当金のお受取り忘れや配当金領収証の紛失のおそれがない金融機関口座等でお受取りへの切り替えをぜひご確認ください。

お問い合わせ先 《買増請求・買取請求に関する手続き / 配当金のお受取り方法の変更 など》

証券会社の口座で管理されている株主さま	お取引のある証券会社へお問い合わせください。
特別口座の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

未受領配当金の支払のお手続 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社へお申し出ください。

マイナンバーに関するご案内 株式の税務関係の手続 (税務署への配当金に関する支払調書の提出など) のため、株主さまからマイナンバーをお届出いただく必要があります。お届出につきましては、お取引のある証券会社などへお問い合わせください。

第134回 定時株主総会決議ご通知

2023年6月28日開催の第134回定時株主総会におきまして、以下のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

- 報告事項** 1. 第134期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類報告の件
2. 会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
上記の内容を報告いたしました。

- 決議事項** 第1号議案 剰余金の配当の件
原案どおり承認可決され、当期の期末配当は、1株につき金15円と決定いたしました。

- 第2号議案 取締役9名選任の件
取締役を上門一裕、中野 隆、米田真一、増田隆治、伊東正博、川久保文照、長尾 真、佐藤陽子の8名が再選され重任し、新たに、秦 雅夫が選任され就任いたしました。
なお、長尾 真、佐藤陽子および秦 雅夫の各取締役は、社外取締役であります。

以 上

お知らせ

第134期期末配当金(1株につき15円)は、同封の「配当金計算書」にて配当金額等をご確認いただき、「配当金領収証」裏面をご高覧のうえ、払渡しの期間内にお近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、口座振込をご指定の株主さまには「配当金計算書」および「お振込先について」を、また、株式数比例配分方式をご指定の株主さまには「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



山陽電気鉄道株式会社